



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施

沼津地区、富士地区の各安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

【沼津地区】

5月31日(水)、県警本部交通部、沼津警察署、交通安全協会沼津地区支部、沼津市、県土木事務所、地元自治会等関係団体及び沼津地区安全運転管理協会事務局長の計15人が参加して、交通死亡事故現場診断を行いました。

(事故の概要)

5月18日(木)午後0時15分頃、沼津市岡一色(主要地方道三島富士線)で自動二輪車(原付第2種)の単独転倒事故が発生し、運転していた男性が死亡したものの。

この事故現場は、片側1車線の見通しの良い直線道路で、道路形状等による問題点や対向車のドラレコの映像から飛び出しや他の車の介在等は確認できませんでしたが、参加者からは、改善点として、

- 道路に工事等による凸凹が見られるため、補修工事が必要
- 道路標示についても同様にカスレ等が見られるため、改修が必要
- 死亡した運転者が装着していた半キャップ型のヘルメットが要因とも考えられるため、より安全なヘルメットの装着を呼び掛ける広報の実施などの事故防止対策の意見が出されました。



【事故現場診断】



【検討会の状況】

【富士地区】

6月1日(木)、県警本部交通部、富士警察署、富士市役所、地区長、地域交通安全推進委員、交通安全協会富士地区支部及び**富士地区安全運転管理協会（顧問、理事、事務局長）**の計24人が参加して、交通死亡事故現場診断を行いました。

（事故の概要）

4月10日（月）の早朝、富士市伝法地先の県道と市道が交差する十字路交差点で、西進右折した普通貨物自動車（80代男性）と県道の横断歩道上を歩行中の70代男性が衝突し、歩行者が死亡したものの。

再発防止策として、参加者から、**交差点内のカラー舗装化**や**歩道の縁石に車のライトで反射する鋸等を設置する**などの意見が出されました。



【現場診断の状況】



【参加者からの意見説明】